

水害による人的被害”ゼロ”を目指して、 市町村長とのトップセミナー

～最北地区市町村長との連携を確認、住民と共同点検を実施～

近年、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しており、最上川でも鬼怒川や渋井川と同様の豪雨災害がいつ発生してもおかしくない状況にあります。こうした中、国土交通省では「避難を促す緊急行動」※に取り組んでいます。

新庄河川事務所では、水害による人的被害”ゼロ”を目指して、最北地区市町村長とのトップセミナー、地域住民を含めた共同点検を実施し、地域住民等の円滑で迅速な避難の確保を図ります。

※別添1，2参照

■最北地区市町村長とトップセミナー（国土交通省と市町村長の連携確認）

出席者：最北地区市町村長

日時：平成27年11月17日（火）11：00～11：30

（この後11：30～12：00に最上川中流改修促進期成同盟会要望会が行われます。こちらも取材可能です。）

場所：新庄河川事務所 大会議室（2階）

内容：「避難を促す緊急行動」の概要

洪水予報の基準、避難勧告・指示のタイミングとその発令範囲

水害対応のタイムライン及びチェックリストの活用

住民への周知

■洪水に対してリスクが高い区間の共同点検

出席者：最北地区市町村長（現地説明時）、市町村防災担当職員、各地区水防団・区長等

日時・場所：別表－1参照

内容：流下能力が低い箇所など洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所等）について、出席者が共同点検を行い、情報共有します。

随時取材可能です。事前に下記問い合わせ先に連絡をお願いします。

[発表記者會：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者會]

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所（最上川中流洪水予報・水防連絡会 事務局）

電話 0233-22-0251（代表）

・全体について

副所長（河川担当）

佐藤 要

・トップセミナーについて

調査課長

田村 公仁

・共同点検について

管理課長

横山 孝臣

別表－１

日付	時間	場所	内容
11月	13:30～	大石田町役場	セミナー
24日(火)	14:45～	大石田町豊田地内	現地説明 (大石田町長立会)
	15:20～	尾花沢市毒沢地内	現地説明
25日(水)	13:30～	戸沢村役場	セミナー
	14:45～	戸沢村金打坊地内	現地説明 (戸沢村長立会)
	15:15～	戸沢村岩清水地内	
	15:50～	新庄市畑地内	現地説明 (新庄市長立会)
27日(金)	13:30～	舟形町役場	セミナー
	14:50～	舟形町堀内地先	現地説明 (舟形町長立会)
30日(月)	10:00～	大蔵村役場	セミナー
	11:15～	大蔵村作の巻地内	現地説明 (大蔵村長立会)
	13:30～	真室川町中央公民館	セミナー
	14:45～	真室川町新町地内	現地説明 (真室川町長立会)
	15:20～	鮭川村石名坂地内	現地説明 (鮭川村長立会)



平成 27 年 10 月 5 日
水管理・国土保全局

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて 「避難を促す緊急行動」を実施します

この度の平成 27 年 9 月関東・東北豪雨により、全国各地において浸水被害等が発生しており、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、約 1 万 1 千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

今回の水害を受け、

- ① 堤防決壊に伴う氾濫流による家屋の倒壊・流失
- ② 地方公共団体による避難判断、広域避難
- ③ 避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生

の 3 点を対処すべき主な課題と捉え、全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの住民の方々の不安や懸念に応えるための「避難を促す緊急行動」を実施することと致しましたので、お知らせいたします。

添付資料

- 【別紙 1】平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害を踏まえた主な課題
- 【別紙 2】平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて
「避難を促す緊急行動」
- 【別紙 3】「避難を促す緊急行動」の概要

<問い合わせ先>

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課

河川事業調整官 林 正道 (内線 35302)

河川企画係長 三國谷 隆伸 (内線 35333)

TEL : (03) 5253-8111 (代表)

TEL : (03) 5253-8443 (直通) FAX : (03) 5253-1602

被災した場合に大きな被害が想定される国管理河川において、以下を実施

1. 首長を支援する緊急行動

～市町村長が避難の時期・区域を適切に判断するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- トップセミナー等の開催
- 水害対応チェックリストの作成、周知
- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 氾濫シミュレーションの公表
- 避難のためのタイムラインの整備
- 洪水予報文、伝達手法の改善
- 市町村へのリアルタイム情報の充実

2. 地域住民を支援する緊急行動

～地域住民が自らリスクを察知し主体的に避難するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知(再掲)
- ハザードマップポータルサイトの周知と活用促進

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 家屋倒壊危険区域の公表
- 氾濫シミュレーションの公表(再掲)
- 地域住民の所在地に応じたリアルタイム情報の充実